

利用者が見守る中、ヒマワリを描くブルジャさん(中央)



岩国 障害者と一しょに描く 仏人画家

障害者の家族らでつくる「岩国手をつなぐ育成会」が11日、フランス人画家のジャン・フランソワ・ブルジャさん(51)を、岩国市の障害者施設「みのり園」に招いた。昨年迎えた結成50周年の記念事業の一環で、同施設利用者がブルジャさんと交流を深めた。

前身の「岩国手をつなぐ親の会」が1962年に結成された。現在の会員は約40人。50周年記念事業として、ピカソやシャガール、平山郁夫ら国内外の著名な画家の作品約150点を集めた「現代国際巨匠絵画展」(読売新聞西部本社など後援)を、13、15日にシンポジウムで開く。

ブルジャさんは出品者の一人で、絵画展に合わせて来日。施設では、22、25歳の利用者9人が大きな画用紙(縦約90センチ、横約1・5メートル)に、思い思いの絵を描き、ブルジャさんが中央部分にヒマワリを描いて仕上げた。ブルジャさんは「それぞれが鮮やかな色遣いで描いていた。短時間だったが、交流を深めることができた」と笑顔を見せた。

絵画展は午前10時～午後6時。入場無料。ブルジャさんのサイン会も開かれる。問い合わせは、同施設(0827・32・8414)へ。

岩国 チャリティー展で来日の仏画家 作業所で絵画共同製作

岩国市藤生町の市中心身障害者福祉作業所みのり園に11日、フランス在住の画家ジャン・フランソワ・ブルジャさん(51)が訪れ、利用者9人と絵を共同製作した。



利用者が見守る中、ヒマワリを描くブルジャさん(左端)

描いた画用紙(縦約90センチ、横約150センチ)の

余白に、ブルジャさんも筆を入れた。濃淡を付けながら、生命力にあふれたヒマワリ3本を10分ほどで描くと、利用者から大きな拍手が送られた。ブルジャさんは「みんなとてもきれいな色で描いている。参加できて楽しかった」と話していた。

ブルジャさんは、障害者の自立を支援する「岩国手をつなぐ育成会」の結成50周年記念として、13、15日に三笠町のシンフォニア岩国であるチャリティー「現代国際巨匠絵画展」に合わせて来日した。同展ではブルジャさんが並ぶ。(大村隆)

の作品のほか、ピカソやシャガールのリトグラフなどの約150点が並ぶ。(大村隆)

障害者福祉向上へ
チャリティー絵画展
岩国、ピカソ作品など



国内外の著名画家の作品に見入る来場者たち

障害者の家族らでつくる「岩国手をつなぐ育成会」の結成50周年記念事業「現代国際巨匠絵画展」(読売新聞西部本社など後援)が13日、岩国市のシンフォニア岩国で始まった。15日まで。入場無料。

育成会は1962年に結成。絵画展は会の歩みを振り返るとともに、障害者への理解をさらに深めてもらおうと開催した。

会場では、業者の協力で

ピカソや平山郁夫ら国内外の画家約60人の版画など約120点を展示販売している。売上金の一部は、育成会の活動費などに充てられるほか、東日本大震災で被災した障害者施設に寄付される。

育成会の黒元治生会長(82)は「障害者福祉の向上に協力していただいた方々に感謝するとともに、心豊かな地域づくりに向け、さらに努力していきたい」と話している。

開催時間は午前10時〜午後6時。問い合わせは実行委員会(0827・32・8414)へ。

障害者支援へ 美術品を販売

岩国、きょうまで

収益の一部を障害者支援団体に贈るチャリティー絵画展が、岩国市のシンフォニア岩国で開かれている。15日まで。

障害のある子どもがいる親の会「岩国手をつなぐ育成会」の結成50周年を記念して開かれた。現代画家の油彩、版画など約120点を展示している。育成会



の黒元治生会長は「障害者が差別されない、いじめられない社会になつてほしい。贈られた益金は、その活動に使いたい」と話した。

岩国で「現代国際 巨匠絵画展」 きょうまで 「岩国手をつなぐ育

成会(黒元治生会長)の結成50周年を記念した「現代国際巨匠絵画展」写真が13日、岩国市三笠町のシンフォニア岩国で始まった。15日まで。入場無料。

同会やNPO法人「障害者支援村みどりえん」など3団体の実行委員会が企画。会場にはフランスの画家、ジャン・フランソワ・ブルジャさんの作品約120点が展示、即



売されている。同会は障害児の親たちが1962年に「岩国手をつなぐ親の会」として結成した。70年代の石油ショック

で障害児らの就職が困難になると、75年に福祉作業所「みのり園」を建設。さらに社会福祉法人の設立に協力して、通所授産施設「し